



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月13日

上場会社名 株式会社 エコミック  
 コード番号 3802 URL <https://www.ecomic.jp>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 熊谷 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 荒谷 努

TEL 011-206-1103

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,305	21.4	135	42.5	144	41.3	98	28.0
2019年3月期	1,076	10.9	94	41.6	102	40.5	76	38.5

(注) 包括利益 2020年3月期 86百万円 (20.4%) 2019年3月期 71百万円 (21.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	61.21	60.89	14.8	17.7	10.4
2019年3月期	47.86	47.59	12.9	15.1	8.8

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	909	701	76.9	435.93
2019年3月期	724	628	86.4	389.96

(参考) 自己資本 2020年3月期 699百万円 2019年3月期 626百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	208	45	12	603
2019年3月期	161	37	12	458

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		8.00	8.00	12	16.7	2.2
2020年3月期		0.00		10.00	10.00	16	16.3	2.4
2021年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00		19.3	

(注) 当社は2020年4月27日を払込期日とする公募増資により普通株式240,000株を発行、また2020年5月7日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資により30,000株の普通株式の発行をしております。2021年3月期の配当予想における「配当性向」については、当該新株発行の影響を考慮しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	464	8.7	80		92		61		33.60
通期	1,466	12.3	146	7.9	134	7.2	96	2.3	51.74

(注)当事業の性質上、業績は下半期に偏重する傾向にあります。

当社は2020年4月27日を払込期日とする公募増資により普通株式240,000株を発行、また2020年5月7日を払込期日とするオーバーアロートメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資により30,000株の普通株式の発行をしております。2021年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該新株発行の影響を考慮しております。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期	1,605,600 株	2019年3月期	1,605,600 株
2020年3月期	株	2019年3月期	株
2020年3月期	1,605,600 株	2019年3月期	1,604,609 株

期末自己株式数

期中平均株式数

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,305	21.4	119	87.3	118	76.2	72	69.8
2019年3月期	1,076	10.9	63	83.3	67	73.7	42	41.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	45.16	44.92
2019年3月期	26.61	26.46

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	
2020年3月期	840	605	605	605	71.8	375.92	
2019年3月期	711	548	548	548	76.9	340.64	

(参考) 自己資本 2020年3月期 603百万円 2019年3月期 546百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しにより緩やかな回復基調が続いたものの、米中貿易摩擦の影響や消費税増税に加えて、年度終盤には、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に及ぼす影響により、先行きは依然不透明な状況で推移しました。

当業界におきましては、このような経済の先行き不透明感が強まっている中、働き方改革等を背景に、引続き企業の効率化、省力化への動向が続き、事業再構築やBCP（事業継続計画）の手段としてのアウトソーシングニーズは引続き高い状況でありました。

そこで当社グループは、経営方針にある「お客様への価値あるサービスの提供」として、顧客企業に対し給与計算に係る人材、時間等の経営資源をより価値の高い本来業務へ転換していただくことによるコストの削減、顧客企業の生産性向上の観点から、アウトソーシングサービスの提案を行い、あらゆる企業から管理部門のルーティンワークを減らすべく付加価値の高いサービスの提供を行ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における経営成績については、売上高は1,305,905千円（前連結会計年度比21.4%増）、営業利益は135,350千円（前連結会計年度比42.5%増）、経常利益は144,337千円（前連結会計年度比41.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は98,276千円（前連結会計年度比28.0%増）となりました。

当社グループはペイロール事業の単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント区分を行っておりません。この単一セグメントであるペイロール事業の経営成績は次のとおりであります。

当連結会計年度については、引続き既存顧客との関係強化及び積極的な営業活動に取り組んでまいりました。売上高については、新規の給与計算及び給与計算に付随する周辺業務の受注並びにクラウドアウトソーシングサービスである「簡単年調」を中心とした年末調整処理業務のスポット案件の受注が好調であったため21.4%増加し1,305,905千円となりました。利益につきましては、作業の標準化や子会社への業務委託等による一層の効率化が進み、更には販売費及び一般管理費の抑制も進んだ結果、営業利益は135,350千円（前連結会計年度比42.5%増）、経常利益は144,337千円（前連結会計年度比41.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は98,276千円（前連結会計年度比28.0%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は743,546千円となり、前連結会計年度末に比べ167,838千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が144,842千円増加したことによるものであります。固定資産は166,336千円となり、前連結会計年度に比べ17,228千円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が18,195千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は909,882千円となり、前連結会計年度末に比べ185,067千円増加いたしました。

#### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は207,879千円となり、前連結会計年度末に比べ111,746千円増加いたしました。これは主に未払金が59,168千円及び未払法人税が26,221千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は207,918千円となり、前連結会計年度末に比べ111,258千円増加いたしました。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は701,964千円となり、前連結会計年度末に比べ73,809千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益98,276千円により利益剰余金が85,431千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は76.9%（前連結会計年度末は86.4%）となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、投資活動による支出45,596千円及び財務活動による支出12,669千円があった一方、営業活動による収入208,556千円があったため前事業年度末に比べて144,842千円増加し、603,735千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は208,556千円（前連結会計年度は161,768千円獲得）となりました。これは主に法人税等の支払額37,026千円があった一方、税金等調整前当期純利益の計上143,172千円、減価償却費の計上48,357千円及び未払金の増加56,103千円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は45,596千円（前連結会計年度は37,437千円使用）となりました。これは主に年末調整システムの改修等に伴う無形固定資産の取得による支出36,851円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は12,669千円（前連結会計年度は12,259千円使用）となりました。これは配当金の支払いによる支出12,669千円によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率（%）	89.8	86.4	76.9
時価ベースの自己資本比率（%）	220.2	168.1	135.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（%）	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	—	—	18,482.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注）1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 当社グループは、2018年3月31日現在、2019年3月31日現在及び2020年3月31日現在、有利子負債がないためキャッシュ・フロー対有利子負債比率については記載しておりません。

5. 当社グループは、2018年3月期及び2019年3月期においては、利払いを行っていないため、インタレスト・カバレッジ・レシオについては記載しておりません。

#### （4）今後の見通し

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くと見込まれ、感染症が内外経済を更に下振れさせるリスクに十分注意する必要があります。企業は感染拡大防止によるテレワークや時差出勤等を実施しながら、管理部門の機能を止めることなく企業を存続させる必要があります。

このような環境のもと、企業の講ずる合理化策、リスク回避策の一つがアウトソーシングであると思われます。アウトソーシングを活用することにより、管理間接部門のコスト削減が図れると同時に管理部門が本来行うべき業務への集中を図り合理化につなげること、またテレワークの導入等による働き方の変革やBCP（事業継続計画）対策の手段として、今後もアウトソーシングのニーズはますます高まっていくものと考えております。

以上により、次期の業績見通しといたしましては、売上高は1,466,000千円、営業利益は146,000千円、経常利益は134,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益は96,000千円を見込んでおります。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、新型コロナウイルスの当社グループにあたる影響につきましては、当社グループの主たる事業である給与計算業務は、原則毎月継続的に顧客企業との取引が発生することとなっており、現時点では本事象に係る取引停止等の事象は発生しておりません。更に当社及び中華人民共和国山東省青島市の連結子会社栄光信息技术（青島）有限公司ともに業務運営に支障はきたしておりません。しかし、今後感染が広がるに伴い顧客企業からの情報提供が滞った場合や当社グループ内で感染が広がった際には業務運営に支障をきたす恐れがあります。その際には、状況及び業績に与える影響について速やかに開示する予定であります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引者等であり、海外からの資金調達の実必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	458,892	603,735
売掛金	106,885	121,913
為替予約	424	—
その他	9,542	17,928
貸倒引当金	△39	△32
流動資産合計	575,707	743,546
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	9,476	11,436
工具、器具及び備品（純額）	16,237	12,607
有形固定資産合計	25,714	24,043
無形固定資産		
ソフトウェア	87,176	92,858
無形固定資産合計	87,176	92,858
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,936	21,132
敷金及び保証金	26,296	28,291
その他	6,984	10
投資その他の資産合計	36,217	49,433
固定資産合計	149,107	166,336
資産合計	724,815	909,882
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,942	16,950
未払金	12,146	71,314
為替予約	—	566
未払法人税等	27,827	54,048
その他	44,216	64,998
流動負債合計	96,133	207,879
固定負債		
繰延税金負債	527	38
固定負債合計	527	38
負債合計	96,660	207,918
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	248,137	248,137
資本剰余金	83,113	83,113
利益剰余金	294,319	379,750
株主資本合計	625,570	711,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,017	—
為替換算調整勘定	△2,463	△11,068
その他の包括利益累計額合計	553	△11,068
新株予約権	2,030	2,030
純資産合計	628,154	701,964
負債純資産合計	724,815	909,882

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
売上高	1,076,100	1,305,905
売上原価	729,237	891,660
売上総利益	346,863	414,244
販売費及び一般管理費	251,875	278,893
営業利益	94,987	135,350
営業外収益		
受取利息	325	402
助成金収入	3,302	10,620
その他	3,546	1,591
営業外収益合計	7,174	12,614
営業外費用		
上場関連費用	—	1,052
為替差損	—	2,564
支払利息	—	11
営業外費用合計	—	3,627
経常利益	102,162	144,337
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,549
特別利益合計	—	3,549
特別損失		
訴訟和解金	—	4,714
特別損失合計	—	4,714
税金等調整前当期純利益	102,162	143,172
法人税、住民税及び事業税	28,947	62,233
法人税等調整額	△3,583	△17,336
法人税等合計	25,363	44,896
当期純利益	76,799	98,276
親会社株主に帰属する当期純利益	76,799	98,276

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
当期純利益	76,799	98,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,596	△3,017
為替換算調整勘定	△2,240	△8,604
その他の包括利益合計	△4,837	△11,622
包括利益	71,961	86,654
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	71,961	86,654

## （3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	247,710	82,686	230,350	560,748
当期変動額				
新株の発行	426	426		853
剰余金の配当			△12,830	△12,830
親会社株主に帰属する 当期純利益			76,799	76,799
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）				
当期変動額合計	426	426	63,968	64,822
当期末残高	248,137	83,113	294,319	625,570

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	5,614	△222	5,391	2,345	568,484
当期変動額					
新株の発行					853
剰余金の配当					△12,830
親会社株主に帰属する 当期純利益					76,799
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△2,596	△2,240	△4,837	△314	△5,151
当期変動額合計	△2,596	△2,240	△4,837	△314	59,669
当期末残高	3,017	△2,463	553	2,030	628,154

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	248,137	83,113	294,319	625,570
当期変動額				
新株の発行				
剰余金の配当			△12,844	△12,844
親会社株主に帰属する 当期純利益			98,276	98,276
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）				
当期変動額合計	－	－	85,431	85,431
当期末残高	248,137	83,113	379,750	711,001

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	3,017	△2,463	553	2,030	628,154
当期変動額					
新株の発行					
剰余金の配当					△12,844
親会社株主に帰属する 当期純利益					98,276
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△3,017	△8,604	△11,622		△11,622
当期変動額合計	△3,017	△8,604	△11,622	－	73,809
当期末残高	－	△11,068	△11,068	2,030	701,964

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	102,162	143,172
減価償却費	40,980	48,357
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,549
売上債権の増減額(△は増加)	13,671	△19,281
営業債務の増減額(△は減少)	△516	5,007
未払金の増減額(△は減少)	4,187	56,103
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,153	20,507
その他	7,395	△5,126
小計	172,036	245,191
法人税等の支払額	△11,301	△37,026
法人税等の還付額	529	—
その他	505	391
営業活動によるキャッシュ・フロー	161,768	208,556
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	—	6,163
定期預金の預入による支出	△10,000	—
定期預金の払戻による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△6,302	△10,781
無形固定資産の取得による支出	△34,686	△36,851
敷金及び保証金の差入による支出	△3,573	△7,439
敷金及び保証金の回収による収入	7,106	3,311
その他	19	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,437	△45,596
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	595	—
配当金の支払額	△12,854	△12,669
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,259	△12,669
現金及び現金同等物に係る換算差額	588	△5,447
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	112,660	144,842
現金及び現金同等物の期首残高	346,232	458,892
現金及び現金同等物の期末残高	458,892	603,735

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当社グループは、ペイロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
1株当たり純資産額	389.96円	435.93円
1株当たり当期純利益金額	47.86円	61.21円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	47.59円	60.89円

（注）1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 （千円）	76,799	98,276
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額（千円）	76,799	98,276
期中平均株式数（株）	1,604,609	1,605,600
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 （千円）	—	
普通株式増加数（株）	9,154	8,371
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在 株式の概要	—	—

（重要な後発事象）

1. 公募による新株式の発行

当社は、株式会社東京証券取引所より上場承認を受け、2020年4月28日に同取引所JASDAQ（スタンダード）に株式を上場いたしました。この株式上場にあたり、2020年4月7日開催の取締役会において、下記のとおり募集株式の発行について決議し、2020年4月27日に払込が完了いたしました。

(1) 募集株式の種類及び数	当社普通株式 240,000株
(2) 発行価格	1株当たり 829円 一般募集はこの価格にて行いました。
(3) 払込金額	1株当たり 767.89円 この価額は、当社が引受人から1株当たりの新株式申込金として受け取った金額であります。なお、発行価格と申込金額との差額の総額は、引受人の手取金となります。
(4) 資本組入額	1株につき 383.945円
(5) 払込金額の総額	184,293,600円
(6) 資本組入額の総額	92,146,800円
(7) 払込期日	2020年4月27日
(8) 募集方法	一般募集（引受人：岡三証券株式会社）
(9) 資金の使途	本公募増資と同日付の取締役会において決議された2020年5月7日を払込期日とする第三者割当増資の払込金額と合わせ、設備投資資金に充当する予定であります。

2. 第三者割当による新株式の発行

当社は、2020年4月7日開催の取締役会において、岡三証券株式会社が行ったオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を下記のとおり決議し、2020年5月7日に払込が完了いたしました。

(1) 発行株式の種類及び数	当社普通株式 30,000株
(2) 払込金額	1株当たり 767.89円
(3) 資本組入額	1株につき 383.945円
(4) 払込金額の総額	23,036,700円
(5) 資本組入額の総額	11,518,350円
(6) 払込期日	2020年5月7日
(7) 割当先及び割当株式数	岡三証券株式会社 30,000株
(8) 資金の使途	1. 公募による新株式の発行(9)資金の使途と同様であります。